

平成29年度

金山まつり

夏を彩る山車と花火



10

▼1～3それぞれ荒屋若連・安沢若連・中田若連による獅子▼4羽場若連：風流『連獅子』▼5山崎若連：風流『陰陽師 瀧夜叉姫』▼6山車の観覧場所としても好評だった夜空市▼7青空音楽祭にはゲストとして最上川司さんが▼8七日町若連：風流『本能寺の変』▼9十日町若連：風流『京鹿子 娘道成寺』▼10今年もまつりのフィナーレを飾った納涼花火大会

今回の広報では、初日の宵まつりを中心に掲載。闇夜に輝く金山の夏の結晶をご覧くださいと思います。

今年の山車コンクールでは羽場若連の風流「連獅子」が最優秀賞を獲得。代表の柴田直樹さんは「1ヵ月間、毎日10名ほどが集まり完成させた。みんなの想いがひとつになったことで最優秀賞が獲れたと思う」と話し、白い歯をこぼしていました。

8月14日午後7時過ぎ。舞台はまだ蒸し暑い夜の金山。きらびやかな光を放つ5台の山車がゆっくりと動き始め、今年も金山まつりが幕を開けました。腹の奥にずしりとくる迫力の囃子と、威勢の良い掛け声が町中に響き渡り、「ああ、今年もこの季節か」と3日間だけの夏の祭典に想いを馳せた方もいたことでしょう。翌15日は八幡神社例祭にあたる日。伝統ある神輿行列を先頭に、山車が1日かけて町内を練り歩きました。



1



3

2

4



8



6



4



9



7



5



5